

# 令和6年度(2024年度)北海道真駒内養護学校 第2回 学校運営協議会 【議事録】

1 日 時 令和6年11月6日(水曜日) 15時30分~16時50分

2 場 所 北海道真駒内養護学校 会議室

3 北海道真駒内養護学校 学校運営協議会委員

北條 俊介 様 (本校PTA会長)	高木 美穂 (校長)
菅原 哲雄 様 (真駒内東町町内会 会長)	篠田 佳寿 (副校長)
山名 常二 様 (澄川第九町内会会長 精進川美化・緑化の会 会長)	越田 淳 (教頭)
菊地ひとみ 様 (社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉施設長)	黒沼 敬貴 (事務長)
戸倉 聡 様 (日之出歯科真駒内診療所 会長・診療部長)	新海真由美 (主幹教諭)
高谷 亮介 様 (札幌市南区社会福祉協議会 事務局長) ※欠席	
高橋 和明 様 (札幌大学教養学系 教授)	

\*本校教職員の参加…三和雪恵(小学部主事) 中山慶一(寮務主任) 伊藤 翼 高木里奈子(寄宿舎指導員)

## 4 【内 容】

### (1) 説明

- ①副会長の選任(規約案の承認)
- ②前期の教育活動及び事業報告

### (2) 熟議1 学校と地域が連携した取組について

- ①防災・危機管理
- ②理解啓発・地域貢献

### (3) 情報提供

児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組について  
北海道教育委員会生涯学習推進局  
社会教育課社会教育指導係主査 廣川 貴志 氏

### (4) 熟議2 卒後の地域生活の充実に向けた取組について



## 5 【熟議1に関する質疑応答】

- ・防災に関わる取組…本校の防災における課題の共有や避難所運営体験ゲーム「DO HUG」をしながら防災について理解を深めることを目的に、「防災学校見学会」10/26開催。町内会等より14名の参加あり。
- ・一日防災学校見学会で参加者から挙げられた質問等について聞かせてもらいたい。  
→参加者からたくさんの質問や学校としても確認すべき事項があり、札幌市札幌市危機管理局危機管理部危機管理課に問い合わせ、確認をしている。

### 〈質問内容とその回答〉

- ・土日などに被災した場合には、誰に連絡すれば良いのか?  
→地域の方には、HPなどで開設している避難所を確認してもらうように伝えてほしい。
- ・札幌市から、指定避難所(地域)の開設についてどのように連絡がくるのか?  
→指定避難所(地域)の開設は、南区役所より連絡が行くことになっている。  
地域の方は、まずは基幹避難所に行ってもらうことになっている。しかし、地域の方々は、まずは状況によって札幌市から求められた場合には、本校も開設して地域の方々を受け入れていくことになる。
- ・町内会から防災備蓄食の寄贈、もしくは保管を受けることは可能か?  
→避難所への非常食などの配送は難しく、基幹避難所へ取りに行ってもらうことになる。  
学校の備蓄を提供した場合、札幌市に後日請求できるかどうかについては、災害救助法が適用されるときは請求が可能となる。適用されないときは、制度的には学校から札幌市に請求はできない。

\*本校が避難所として開設した場合には、避難所運営をしていくのは町内会の方々になると思う。どちらにせよ、学校と地域との連携が大切になる。

## 6【熟議2に関する質疑応答】

- ・児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組についての情報提供を受け、本校の卒後の地域生活の充実に向けた取組についての熟議を行った。

### 〈質問内容とその回答〉

- ・2020 東京オリンピックの遺産としたスペシャルオリンピックを全ての特別支援学校実施を!・・・というメッセージが文部科学大臣からあったと記憶している。あのときのメッセージに込められていたことが、学校教育活動との関わりとしてどのようにつながっているのか?  
→卒業後のつながりについてはずっと課題になっていることだと思っている。そこを頑張れ!ということで社会教育課での取組を進めているところである。

## 7【その他 全体を通した御意見等】

- ・防災学校見学会について、元々は地域と学校との繋がりが始まりだったと思う。見学会後に参加者の方とばったり会う機会があり、それぞれとても勉強になったと共有していた。ただ、誰もが互いの町内会の避難所が真駒内養護学校だと思っていたようだった。町内会でも再度確認していく必要があると感じた。
- ・高等部の生徒と一緒に取り組んでいる、フラワースマイルについて、地域の会員が高齢化していて、新規会員もいないため、今後の継続についての難しさも感じているのが現状である。今後もできる範囲で協力していきたい。
- ・医療の立場から、社会状況とデジタルの進化で、手と手が触れ合わなくても繋がることのできるのだな・・・と話を聞いていて感じた。遠く離れていても、繋がることのできるようになった。
- ・札幌大学の大学祭の取組について。大学と地域の街づくりフェスタが同日開催になっている。真駒内養護学校が参加するとなると、まだ様々な課題がある。しかし、子ども達が参加することはできる。ただ地域貢献としてどう捉えていくのか?子ども達が地域公共施設を活用することによって、変化を起こせると考えている。街を変えていく大きな力になると思っている。地域を活用した学習活動が大切であると考えている。大学側への積極的な問い合わせもしてみると良い。受入側の学生や大学職員への影響も大きいと感じている。
- ・町内会の子ども会の取組について、以前は町内会の子ども達と真駒内の児童生徒がそれぞれに作った鯉のぼりを飾っていたこともあった。また一緒に取り組めることが見つかるとうい。
- ・町内会報などに、今回の防災見学会についても掲載してもらえると、避難所についても共有できると思う。

## 8 校長より

- ・様々なアイデアをいただき、次の活動へと繋がったと感じている。  
防災見学会も、地域の方々と交流・活動し、防災について学び、確認することができた取組になった。
- ・本校には、障がい者スポーツに積極的に取り組んでいる児童生徒もたくさんいる。生涯学習についても、引き続き情報提供をいただきたい。
- ・学校から地域の方々への情報提供となるが、本校教室にもクーラーが設置されることになり、12月以降に工事が始まることを御承知願いたい。

## ○次回の運営協議会について

- ・第3回の運営協議会は2月開催予定。

